

「Hknot+（エイチ ノット プラス）」の活動を見学しました

2026 年 7 月 8 日（水）に、広島市中区の port.cloud（愛称：ポクラ）で実施された Hknot+（エイチ ノット プラス）の活動を見学しました。



Hknot+（エイチ ノット プラス）は、広島県内で新たな挑戦を志す大学生が、「最初に相談できる人」と出会える環境づくりを目的として、広島を拠点にさまざまな分野で活躍し、挑戦を続ける方々への取材を通じた人物図鑑（Digital Book）の制作に取り組んでおられます。この人物図鑑では、学生が自身の悩みや関心に応じて「逢いに行きたい人」を見つけ、行動を起こすきっかけを得られることを目指しておられます。起業や地域活動、ものづくりなどに関心を持ちながらも、「誰に相談すればよいかわからない」「どこにつながればよいかわからない」といった理由から、一步を踏み出せずにいる学生は少なくないそうです。そこで、当団体では、広島県内で活躍する多様な人材や活動を可視化し、学生と地域人材との新たな接点を創出するとともに、世代や分野を超えた挑戦の連鎖を生み出す基盤づくりを進めることになったそうです。

見学に行った当日は、学生たちの活動を支援している団体代表の山田貴子さんと 5 名の学生メンバーが会場にいられていました。今回は、インタビューを始めて 2 人目とのことで、学生の皆さんは笑顔ながらも、緊張した面持ちで、お話を伺う和田徳之さん（株式会社和大地 代表取締役）のご来場を待っておられました。和田さんは、広島県ご出身の起業家であり社会活動家。大学進学から広島を離れ、東京で芸能プロダクションや地域の大切な文化やものづくりを未来につなぐことを行っている会社を経て、コロナを機に U ターンされ

ました。これには、ご自身の人生において、子育ては街の中に自然の豊かさがある「暮らしやすく子育てしやすい広島で！」との思いがあったからだそうです。現在は、これまでの豊富なご経験をもとに、行政や住民と広島の魅力を見いだしライフスタイルを提案する取り組みを推進されています。

開始時間の5分前に、和田さんが登場。この回の代表より取り組みの趣旨説明が紹介された後、いよいよインタビュー開始です。5名のメンバーは、質問係、撮影係、記録係と役割分担した体制で臨まれており、スムーズに進行されていました。

まず初めに、和田さんに自己紹介していただきました。メンバーは、事前に和田さんについての情報を広く収集しておられ、その内容に基づき、深掘した質問をされていました。和田さんの引き込まれる興味深いお話と柔らかい雰囲気で一気に緊張もほぐれ、次々と質疑応答が飛び交います。

ある程度お話を聞かれたところで、メンバーが作成した和田さんの経歴が書かれている用紙をお渡しし、ライフラインチャートに感情曲線を書き入れてもらい、これをベースに質問の深堀が続きしました。



質問が出つくされた頃に、終了予定時間が近づいてきました。タイムマネジメントも完璧です。最後の質問は、グループメンバーのお悩み相談。学生のリアルな悩を5つ挙げ、それぞれの悩みに対してアドバイスをいただくというもの。メンバーは真剣な面持ちで話に耳を傾けている姿が印象的でした。

和田さんが帰られた後、メンバーの皆さんから心に残った言葉を伺うと、「とにかくやってみる」「興味を持つ」「自分軸を持つ」「行動力を向上させる」「挑戦する」などのキーワードが上がってきました。

今回の見学では、メンバーの的確な質問力や入念な事前調査に取り組む姿勢、そして爽やかで礼儀正しい応対に接し、大変頼もしく感じました。また、この図鑑が、学生と地域をつなぐ架け橋となり、新たな挑戦の創出や広がりにつながることを期待しながら、会場を後にしました。

この見学レポートでは、ネタバレとなる和田さんへの質問及び回答内容の掲載は控えさせていただきます。「人物図鑑」にどのような記事が掲載されるか、このレポートを読んでもくださった皆さんと一緒に完成を待ちたいと思います！

(本郷)



最後に、団体名 Hknot+にちなんで「+」のポーズをリクエスト